



アメリカ

自動車の事故自動通報システムの無料化を要望

● CR(Consumer Reports)ウェブサイト

<https://www.consumerreports.org/cars/car-safety/automakers-charging-extra-for-automatic-crash-notification-a6462204495/>

自動車事故で運転手が意識を失い自分で救助要請ができないような緊急事態に際し、位置情報などを自動的に通報するACN(事故自動通報システム)を装備した新車が増えてきた。アメリカでは1996年に初めてメーカーがACNを採用してから利用が広がり、ヨーロッパの多くの国では新車への標準装備が義務づけられている。NHTSA(国家道路交通安全局)は、2019年の研究でACNによって毎年700人の命が救われると推計。最近では位置情報に加え、事故発生時の速度や走行経路、どのエアバッグが展開したか、乗車人数などさまざまなデータを救急センター等に直接通報するAACN(先進事故自動通報システム)もある。ワシントン大学医学部のバルジャー教授は、峡谷に落ちた運転手が8日後に発見され、重篤な合併症を発症した例を挙げ、ACNがあれば早

期に発見し治療できたはずだとその重要性を説く。

CRは2018年より自動車メーカーに対しすべての新車へのACNの搭載とサービスの無料提供を求めてきたが、実際はまだ少ない。多くは新車購入の際にリモートスタートなどの便利な機能とセットになったオプションプランの一部として提供される。無料試用期間付きの場合もあるが、CRの調査ではその費用は年間100ドル以上だ。CRはACNを単独で無料提供するよう要望している。先のバルジャー教授もACNは安全機能として全車搭載を義務づけるべきだという。CRは、2023年4月時点の、無料および無料試用期間5年以上のACN搭載車名や、試用期間終了後の料金などを公表。また、ACNが義務化された国では搭載車を販売しながら、アメリカ国内では搭載していないメーカー2社の社名も公表している。



オーストラリア

中古家電の賢い買い方

● CHOICE(オーストラリア消費者委員会)ウェブサイト

<https://www.choice.com.au/secondhandappliances>

● ACCC(オーストラリア競争・消費者委員会)ウェブサイト

<https://www.productsafety.gov.au/recalls>

物価高騰や環境負荷への懸念から中古製品への関心が高まっている。オーストラリアの中古製品市場は2022年までの3年間で44%増加し、620億豪ドルに達した。なかでも、国民の15%が中古電子機器を、11%が中古家電を購入(2022年)。製品寿命が長い白物家電やテレビなどは寿命時期(10年程度)間際でなければ十分に機能する。比較的新しい中古家電はエネルギー効率もよい。そこでCHOICEは、中古家電の探し方や購入する際の注意点を助言している。

中古製品を探すには専門の実店舗もあるが、最近はSNSなどオンライン市場での個人間取引が一般的だ。中古販売業者からの購入では品質保証に関するACL(オーストラリア消費者法)による救済措置の対象であるが、個人間取引の場合は対象外なので慎重に選びたい。こまめに広告や出品リストをチェック

すれば、特に留学生の卒業・帰国時期は掘り出し物入手できる確率が高いという。既に製造停止した中古家電の性能や信頼性は、CHOICEの過去の商品テストが参考になる。また、ACCCの製品安全サイトではリコール対象品を確認できる。購入前には、製品所有者と直接会って質問し、汚れやさび、付属品の損傷や不足がないか確認し、テスト操作することなどもCHOICEは勧めている。

一方で、電子廃棄物の増大が問題となっている。年間50万トに上る電子廃棄物の約半分はリサイクルされるが、残りは埋め立て処分だ。CHOICEは、小型家電や電子機器の軽微な修理を消費者自身でできれば電子廃棄物の削減に役立つとして、ボランティアの熟練修理技師などによる無料の期間限定修理イベントも紹介している。